ハローワーク岐阜 就職支援業務報告(令和3年度)

- 1 所長による分析(業務運営の総括)
 - (1) 特に重点的に取り組んだ事項
- ① 各指標に対する取組
 - ○求職者の就職件数の目標(6,724件)及び求人の充足件数の目標(7,790件)を達成するため、次のような取り組みを行いました。結果は 就職件数 6,595件、充足件数 7,558件と目標達成に至りませんでしたが、紹介成功率(紹介した件数のうち就職した率)の向上につなが りました。
 - ・当所では平成27年度から、就職の可能性を高める策を講じて能動的なマッチングを行う取り組み「仕掛けるマッチング」を重点施策として取り組んでおり、今年度においては「1担当者1日1件以上仕掛けるマッチング」の目標を9月以降「2件に1件は仕掛けるマッチング」と強化し、就職率と充足率アップの取り組みを徹底しました。
 - ・担当者が1人の求職者を専任で職業相談・職業紹介を行う求職者担当制を、1担当者3人以上を目標に掲げ早期再就職に向け積極的な 支援を実施しました。
 - ・求人者支援の担当者が地域別に担当することで、求人者と顔の見える関係を構築して求人票の各項目以上の情報を収集し、職業相談時に活用する、また、職業相談・職業紹介を担当する者と求人者支援を担当する者が一緒に事業所見学を行うことで、求人票内容へのフィードバックを行い、求人の早期充足に努めました。
 - ○雇用保険受給者の早期再就職支援にも重点を置き、目標(2,429件)達成に向け次のような取り組みを予定しました。
 - ・初回認定日の雇用保険受給者を職業相談窓口へ誘導し、早期再就職のメリットを説明するとともに、次回職業相談日の予約を促す。
 - ・雇用保険受給者のうち支給残日数が29日以下の者の認定日については職業相談窓口へ誘導し緊要度の再確認、再来相談を促す。
 - ・給付制限中の雇用保険受給者に来所勧奨を行い職業相談に繋げる。

しかしながら、今年度も新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言やまん延防止等重点地域指定により取り組みができない期間が長期となり、結果は 2,231 件と目標達成に至りませんでした。

- ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組
 - ・当所では、中長期的な職員の育成と資質の向上を図り、求職者個々の様々な課題に適確に助言・指導ができるよう、職業相談・職業紹

介を担当するスタッフ全員によるホワイトボードを活用した事例検討を恒常的に実施するとともに、参集による事例検討を月2回実施 しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ・就職支援の充実には職業相談を担当するスタッフの技術と意識の向上が必要なことから、「ホワイトボードによる事例検討」を継続して 実施するとともに、6月からは参集して様々な事例について、就職に向けどの様な課題があり、いつどの様な支援策を活用することがより効果的であるのか、どの様な助言・指導がより効果的であるかについて意見交換を行う取り組みも開始しました。
- ・求人を受理する部門(求人担当部門)と職業相談を行う部門(職業相談部門)との連携が重要であることから、「つぶやきコーナー」を 継続するとともに、求人担当部門の職員と職業相談部門の職員が集まり意見交換を行う座談会を10月から毎週開催しました。
- ・企業説明会へ参加する求職者を増やすことによる充足の促進、適職診断セミナーや面接対策講座等求職者の早期再就職を目的とした支援メニューの周知・活用を促すことによる就職の促進を目的に、SNS (Twitter)による情報発信を10月から開始しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・システムの追加リリースによりオンライン自主応募やオンラインハローワーク紹介、求人者による直接リクエストが可能となったことで、求職者がハローワークに出向かなくても求人情報の収集と応募ができる環境が整ったことから、ハローワークの窓口で相談することのメリットや窓口で相談してよかったと思っていただけるサービスの提供が重要となっており、今まで以上に個別支援、チーム支援が重要と考えています。そのため、求職者担当者制、求人者担当者制の他、求人受理部門の職員と職業相談部門の職員がチームとなり求人充足に向けた支援や個別求人開拓を行うチーム支援を一層充実させるとともに、再就職への意欲の高い雇用保険受給者については、引き続き重点を置き支援してまいります。
- ・失業給付の個別延長や新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金により職業相談件数は大幅に増加しましたが、積極的な就職意 欲喚起や職業相談から職業紹介につなげることができませんでした。職業相談時の仕掛けるマッチングや「はじめの一歩」、「適職診断セ ミナー」、「面接対策講座」等の各種セミナーをより一層充実させることで職業紹介の促進を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

・ハローワークの窓口で相談してよかった、ハローワークへ行ってよかったと思っていただくためには、早期に求職者の抱える課題を解 決するとともに、求人の提案を行い次回相談につなげる、相談から紹介につなげる等手ぶらで帰さない取り組みが重要となることから、 引き続きホワイトボードによる事例検討や参集型による事例検討、「仕掛けるマッチング」を重点取り組みとしていきます。

- ・窓口の利用促進のためには求人票の各項目にない求人の情報を提供することも有効なことから、求人受理部門と職業相談部門が連携した「つぶやきコーナー」や座談会、事業所訪問と訪問後のフォローアップ会議を継続して実施してまいります。
- ・オンライン自主応募やハローワークオンライン紹介の利用が低調なことから、在職中等でハローワークの開庁時間に窓口利用が困難な 方や子どもが小さくハローワークの窓口利用を躊躇する方などに対して、積極的にオンライン自主応募やオンラインによる職業相談・ 職業紹介を周知・案内することで利用の促進を図ります。

2 特記事項

- ・今年度も新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置地域指定により、様々な取り組みにおいて中止や制限が必要となり、十分な取り組みができなかったことで目標達成できない指標が多くなったことは非常に残念でなりません。
- ・オンライン自主応募や求人者による直接リクエストが可能となり、ハローワークが受理した求人にハローワークを介さず応募できる環境が整ったことから、ハローワークを介さないことのメリット・デメリットを確実にお伝えすることで、求職者が自身のニーズやスタイルに合った応募方法を適切に選択できるよう周知・啓発に努めてまいります。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者 早期再就職 件数	紹介率	②障害者の 就職件数	④ハローワーク の職業紹介に より、正社員に 結びついた就 職氷河期世代 の不安定就労 者・無業者 の件数	⑦マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	⑧正社員 求人数	⑨正社員 就職件数	⑩人材不足分 野の就職件数	①生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
令和3年度実績	6, 595件	7, 558件	2, 231件	92. 9%	775件	419件	104. 5%	34, 897件	2, 964件	1, 707件	483件
過去3年度平均	7, 432件	8, 680件	2, 464件	107. 0%	818件	467件	94. 0%	37, 403件	3, 498件	1, 706件	330件
R2年度実績	6, 376件	7, 541件	2, 471件	97. 3%	763件	467件	94. 3%	32, 504件	2, 747件	1, 603件	417件
対 R2 比	103%	100%	90%	95%	101%	89%	110%	107%	107%	106%	115%
R1年度実績	7, 647件	8, 971件	2, 409件	107. 8%	835件	_	94. 9%	39, 104件	3, 689件	1, 809件	387件
対 R1 比	86%	84%	92%	86%	92%		110%	89%	80%	94%	124%
H30 年度実績	8, 274件	9, 527件	2, 513件	114. 5%	857件	_	94. 0%	40, 600件	4, 057件	_	187件
対 H30 比	79%	79%	88%	81%	90%	_	111%	85%	73%		258%

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク大垣 就職支援業務報告(令和3年度)

1 所長による分析(業務運営の総括)

- (1) 特に重点的に取り組んだ事項
- ① 各指標に対する取組

令和2年1月から求人者マイページの開設に重点を置き、約70%強の企業が開設を行った。

マイページ開設が進んだことにより、事業所のHW離れを招かないために、職業紹介部門、事業所部門の正規職員7名と非常勤職員が積極的に事業所訪問を行った。

またその際、求人票以上の企業の特色などの情報を「事業所訪問に行ってきました」コーナーで紹介し、職業紹介につなげていくことを意識した職業相談・職業紹介を行った。

企業説明会への参加を積極的に勧奨し、毎週水曜日に開催して、早期再就職の意欲を高めるとともに HW の継続的・定期的な利用を促した。 求人検索を行う来所者に対し、フロアナビが積極的に声かけを行い、窓口へ誘導することに心がけた。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職業相談に関する「30分 de 事例検討」を月2回開催して職員のスキルアップを図った。 また、雇用保険業務について、他部門の職員が受講しやすいよう4コースの「15分 de 雇用保険」を設けて研修を行った。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

常時設置してある「業務改善提案」コーナーに「集中受付期間」を設けるとともに、職員全員に「集中受付期間リーフレット」を配布して、集中的に提案の促進を図った。

新型コロナウイルス感染症の防止を図るため、1時間毎に換気アナウンスを自動放送することで、職員の換気への意識付け及び来所者に感染防止対策の周知を行った。

「事業所訪問に行って来ました」コーナーを設けて、求人票以外の知り得た情報(画像、訪問時に知り得た情報等)を掲載して求人充足に 努めた。

職業相談に関する「30分 de 事例検討」を月2回開催することを目標に開催して職員のスキルアップを図った。

雇用保険業務について、他部門への職員研修を図るため、受講しやすいよう4コースの「15分 de 雇用保険」を設けて研修を行った。 高年齢者支援を図るため、「ハロワサロン for シニア」と題して月毎にテーマを決めてセミナーを開催した。 外国人の就職支援を図るため、「外国人向け履歴書作成講座」を開催した。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワークのマッチング機能の総合評価について、改めて非常勤職員を含む全職員を対象とした研修を実施し、ハローワーク評価の目的や考え方、評価の構成を周知し直して、効果的な業務改善が継続的に実施できるようにする。なお、毎日の進捗状況を可視化する工夫を行う。特に障害者の就職、学卒(既卒を含む)正社員就職、氷河期世代の正社員就職、マザーズHW事業の対象者の就職に対して地方自治体と連携した事業を実施することにより、令和4年度の目標を達成できるようにする。

また、上記のほかに、生活保護受給者等の就職支援、人材不足分野の就職支援、生涯現役支援窓口での就職支援に対しても、ナビ、コーディ、アドバイザーを中心に「飛び出す HW」を実現できるように取り組みを進める。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用保険説明会が開催できなかったため、HW での求職者に対するサービスや職業訓練の案内などが思うようにできていない。しかしながら、本来業務ができない状況の中、出来ることを見極めて業務運営を行った。

今後はウィズコロナを見据えて、感染対策を万全にし、本来業務を行っていく。

2 特記事項

特になし。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	④ハローワークの 職業紹介により、 正社員に結びつい た就職氷河期世代 の不安定就労者・ 無業者の件数	⑧正社員求人数	⑨正社員就職件数	②障害者の 就職件数	⑦マザーズハロー ワーク事業におけ る担当者制による 就職支援を受けた 重点支援対象者の 就職率
令和3年度実績 	3, 957件	3, 595件	1, 271件	98. 9%	209件	13, 191件	1, 779件	326件	100. 6%
過去3年度平均	4, 464件	4, 022件	1, 471件	111. 0%	176件	13, 648件	2, 085件	363件	92. 0%
R2年度実績	3, 705件	3, 301件	1, 458件	102. 3%	176件	11, 913件	1, 618件	325件	88. 3%
対 R2 比	106%	108%	87%	96%	118%	110%	109%	100%	113%
R1年度実績	4, 603件	4, 111件	1, 460件	109. 7%	_	13, 825件	2, 133件	365件	91. 6%
対 R1 比	85%	87%	87%	90%		95%	83%	89%	109%
H30 年度実績	5, 084件	4, 655件	1, 495件	119. 6%	_	15, 206件	2, 505件	399件	96. 7%
対 H30 比	77%	77%	85%	82%		86%	71%	81%	104%

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク多治見 就職支援業務報告(令和3年度)

1 所長による分析(業務運営の総括)

- (1) 特に重点的に取り組んだ事項
- ① 各指標に対する取組

当所では、来所された求職者の方に対し、相談窓口でのプラス・サービス(求人の提案、応募書類の添削等)の実施、また特に支援が必要と思われる求職者については、履歴書等応募書類の作成支援として「てんさく堂」、模擬面接等面接支援として「面接レスキュー」を案内。求職者マイページを活用したマッチング求人の提供、求職者担当者制と求人担当者制による職員等の能動的マッチングを実施し、主要指標である「就職件数」「充足件数(受理地)」の目標達成を重点的に取り組みました。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

ハローワークシステムの刷新が順次実施されていく中、今後課題解決支援サービスの提供がより一層重要視されるため、職業相談部門の職員等が自分自身の職業相談を客観的に振り返り、各自の職業相談技法の向上を目的とした「30分で事例検討」と題して事例検討研修を職業相談担当窓口職員・非常勤職員全員に実施しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

前年度まで新型コロナウイルス感染症の影響で実施が不定期だったセミナー「実践 自己PRの書き方」「転職探しのサポート! (職業適性検査)」「60歳からの就職」「仕事と家庭(育児・介護)の両立セミナー」を、新型コロナウイルス感染症に配慮し毎月実施。

通常の「事業所説明会」とは別に、「実際に働く現場を見学したい」と言う多くの求職者の声を受けて、隣接する美濃加茂公共職業安定所等と前年度に実施をした「応募前事業所見学」と「企業面接会」という直接担当者と話しが出来る機会の2つをセットにして実施。 前年度に引き続き、求人検索機利用者や総合受付での問い合わせの来所者に職業相談窓口への誘導案内を積極的に実施。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

オンライン登録者で郵便等連絡可能な登録者に対して、本人の状況の把握を行うと共に、郵便及びマイページ等利用によるマッチング及び 来所勧奨を行います。 今まで、単独及び別の日に開催していた「事業所見学会」と「企業面接会」を同日に、事業所で開催することで、応募を迷っている、不安に 感じている求職者に対して不安等を解決することで就職へ繋げるため実施します。

個人担当者制で支援をしている求職者を対象にオンラインによる職業相談(セミナー等を含む)をPRし、効果的に活用します。

求人検索機利用のみとする求職者に対して、総合受付での職業相談窓口への誘導案内にも引き続き積極的な声かけ等を行い、職業相談窓口利用を増やし、職業紹介、就職件数に繋げていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮しつつ、事業所訪問が可能な事業所があれば、事業所の状況確認及び情報収集の訪問を積極的に実施し、収集した事業所・求人に係る情報等を全職員・非常勤職員が共有し、窓口相談及びマッチング支援等業務を実施していきます。

オンライン自主応募については、パソコン等の使用に抵抗がない者は、求職者マイページの案内により利用登録をする求職者もいるが、連絡手段としてしか利用しない者やパソコン等の使用に抵抗のある者が、マイページ利用については消極的。またオンライン自主応募可能求人が有効求人全体の1割程度で推移しているため、オンライン自主応募増加には求職者及び求人者両方の利用者の増加に取り組まないといけない。また求職者のなかには応募は窓口で相談をしながら応募したいという求職者も多い。

2 特記事項

・新型コロナウイルス感染症の影響で、参集方式のセミナーや雇用保険説明会、事業所訪問等を控えたため、年度当初目標を立てた就職件数、 充足件数は目標数を達成したものの、下半期で見直した就職件数は第6波(1月21日から3月21日まん延防止)の影響もあり、新規求職 者等来所者が、減少し目標数を達成出来なかった。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	紹介率	③就職ナビゲータ 一の支援による 正社員就職件数	④ハローワークの 職業紹介により、 正社員に結びつい た就職氷河期世代 の不安定就労者・ 無業者の件数	⑧正社員求人数	⑨正社員就職件数	①生涯現役支援窓 ロでの65歳以上 の就職件数
令和3年度実績	3, 415件	3, 421件	1, 168件	100. 9%	313件	151件	12, 938件	1, 458件	146件
過去3年度平均	3, 817件	3, 814件	1, 403件	109. 0%	314件	209件	14, 300件	1, 716件	124件
R2年度実績	3, 292件	3, 393件	1, 409件	96. 8%	300件	209件	12, 322件	1, 422件	122件
対 R2 比	103%	100%	82%	104%	104%	72%	104%	102%	119%
R1年度実績	4, 021件	3, 994件	1, 424件	110. 2%	318件	_	15, 678件	1, 795件	132件
対 R1 比	84%	85%	82%	91%	98%		82%	81%	110%
H30 年度実績	4, 138件	4, 055件	1, 376件	120. 4%	323件	_	14, 901件	1, 931件	118件
対 H30 比	82%	84%	84%	83%	96%		86%	75%	123%

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク高山 就職支援業務報告(令和3年度)

1 所長による分析(業務運営の総括)

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

当所は、管内面積が広く、地域的状況から求人・求職の労働市場は単一であり、就職件数が直接求人充足につながることから、就職件数の目標達成が最重要課題と位置づけています。

当該広域な管内であることから、求職活動の利便性を図るため、高山市との一体的実施事業に基づく市内9ヶ所での巡回相談、飛騨市との 雇用対策協定に基づく出張相談を1ヶ所にて毎月定期的に実施し、求職者の求職活動への意識を高め、就職促進に努めました。

窓口での職業相談支援に加え、各職員・相談員が目標数を掲げて郵送等による情報提供を実施し、積極的なマッチングに取り組みました。 また、失業認定日においては「職種別認定日」を設定し、全員相談による職種別・雇用形態別・地域別の最新求人情報を提供するとともに 職種別に応じたミニ面談会を定期的に実施して就職件数向上を目指しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークインターネットサービスにおける求人者マイページの開設について、より多くの開設を促進するため、わかりやすく案内する方法を検証し、当該内容を盛り込んだ高山所独自のリーフレットを作成しました。求人者への窓口における説明時に活用、または郵送により周知を図り、開設率を向上させました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワークシステムの刷新により、求人者・求職者の利便性が向上したことにより、ハローワークインターネットサービスを主として活用するオンライン登録者に対しても求職活動の課題を抱える層がみられると考えられ、こうした層に対してハローワークのサービス、利用のメリットをシステムまたは郵送にて届けていくことでハローワーク利用を促し、求職者の態様に応じた職業相談を行うことが重要です。求職者の期待に応じられる付加価値の高い職業相談を行うため、職員・相談員の「情報発信力」と「相談スキル」の習得・向上を日常的に図っていきます。

	(4) その他業務運営についての分析等
	当管内でも令和3年12月末から新型コロナウイルス感染者が急増し、主たる産業である観光業の収益等のダメージが大きく、宿泊・飲食
	の求人が大幅に減少しています。コロナ禍の影響で離職を余儀なくされた求職者等に対する就職支援の更なる強化、及び就労可能な求人の確
	保や職業訓練を活用した未経験職種への就職促進が必要です。
	2 特記事項
ı	

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	④ハローワークの 職業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無業 者の件数	⑧正社員求人数	⑨正社員就職件数	⑦マザーズハロー ワーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者 の就職率
令和3年度実績	1, 907件	1, 857件	432件	90. 1%	42件	5, 038件	697件	98. 1%
過去3年度平均	2, 304件	2, 111件	542件	100. 0%	80件	5, 003件	876件	99. 0%
R2年度実績	2, 070件	1, 969件	513件	95. 7%	80件	4, 611件	740件	97. 1%
対 R2 比	92%	94%	84%	94%	52%	109%	94%	101%
R1年度実績	2, 299件	2, 061件	526件	100. 2%	_	5, 189件	874件	98. 9%
対 R1 比	82%	90%	82%	89%		97%	79%	99%
H30 年度実績	2, 542件	2, 302件	588件	104. 6%	_	5, 210件	1, 014件	100. 0%
対 H30 比	75%	80%	73%	86%		96%	68%	98%

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク恵那 就職支援業務報告(令和3年度)

1 所長による分析(業務運営の総括)

- (1) 特に重点的に取り組んだ事項
- ① 各指標に対する取組

令和3年度の当所の新規求職申込件数は前年度比マイナス9.5%と大幅に減少した。人口減少と言った要因はあるものの、求職者の減少は当然就職件数・充足件数にも影響があることからハローワーク利用者を増やすための取組を行った。求人情報誌を近くのスーパーや JR 恵那駅に配置した。また、求人情報誌の表紙をハローワーク利用してもらうためのキャッチーなものにするため全職員・相談員からデザイン募集をして所内での総選挙により決定して表紙を替えての取組も行った。それによる新規求職者の増加の検証は出来ていないが、増加することを期待している。

当所の求職者は、「女性・フルタイム・45歳未満」の区分が約19%、「女性・パートタイム・45歳以上」の区分が17%となっており、 以前よりパート希望女性の製造業務に就職していく割合が高いことからそこをターゲットとしてきたが、令和3年度においても生産工程の職種のパート求人が一定数あることから、「女性・パートタイム・45歳以上」の区分の求職者を意識した支援をした。

また、高齢者の就職件数の増加を図るために、高齢者が応募しやすい求人を多く揃えることが不可欠であることから、年齢条件を「60歳以上」とした求人を積極的に開拓した。特に、求人者に対して年齢条件を「60歳以上」として募集することを積極的に提案した。

雇用保険受給者に対しては、コロナによるまん延防止等重点措置期間には認定日の密を回避するために、認定日マッチング(求人情報の提供)や予約相談、給付課においては、早期就職のメリットを示す試算表の説明をする等の支援を取り組んできた。この能動的マッチングを推進する求人情報提供により情報提供の年間目標件数 1,200 件を上回る 1,867 件の実績となったが、マッチングを意識するよりも求人情報提供に重きを置いた感があることは反省点である。

こうした取組により、主要指標の就職件数は目標656件に対して688件、充足件数目標550件に対して624件と達成することが出来た。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ハローワーク利用記録票による体調管理と利用者の把握並びに受付での検温を実施した。 また、待合室の密を避けるため認定日には会議室を開放した。また、オミクロン株により感染スピードが増してからは、求人閲覧、認定、 職業相談が1人終わるごとにその窓口の消毒を徹底して行った。

さらに、雇用調整助成金、緊急雇用安定助成金の説明や申請については、完全予約制により対応を前年度に引き続き実施し感染拡大の防止に努めた。

業務改善においては「30 分 d e 事例検討」を実施した。これは他の者の異なる視点からの職業指導方法を自身で気づかせるとともに、自身の振り返りと行わせることで職業相談技法の向上を図るものである。対象者は職業紹介部門と管理部門の新規採用職員を含んだ職員とした。職業紹介部門以外の職員を含めたのは、ハローワークの基本業務のスキルの維持を図ることと、新規採用職員研修のためである。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

令和3年度の前半は、まん延防止等重点措置等の影響により思うように事業所訪問が出来なかったことから、今後において事業訪問計画を立てて実施をしていく。事業所訪問時には、求人票には記載されていない情報収集に努めるとともに、求人者マイページの開設促進や求人者向けサービスメニューを伝え一層のハローワーク利用を促していく。

(4) その他業務運営についての分析等

令和3年度前半はまん延防止等重点措置等により中止していたミニ面接会を再開した。業種によっては人手不足が続いており再開を望む声が出始めた頃に再開をすることが出来た。失業の認定日に合わせて実施していることや、企業から直接説明が受けられることもあり参加される求職者は一定数いる状況にあり継続して実施をしていく。

令和3年度の新規求職者の減少は、求職者の意識がコロナ禍において転職がプラスに働かないと考えて静観していると言う者もいた。 また、同じタイミングでハローワークシステム刷新により求職者マイページの開設により便利になりハローワークの利用が減少したことも 要因と考えている。就職件数、充足件数がコロナ前の水準に戻っていないのも求職者の減少が原因の一つと考えている。

さらに、相談紹介率が低調な理由は、コロナの影響により求職者の気持ちが慎重になり、応募する企業を見極めていることが考えられる。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	④ハローワークの 紹介により、正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	⑧正社員求人数	⑨正社員就職件数	
令和3年度実績	688件	624件	139件	81. 2%	42件	1, 765件	266件	
過去3年度平均	835件	666件	175件	88. 0%	57件	1, 835件	355件	
R2年度実績	744件	620件	160件	79. 3%	57件	1, 603件	297件	
対 R2 比	92%	100%	86%	102%	73%	110%	89%	
R1年度実績	869件	692件	169件	91. 0%	_	1, 918件	393件	
対 R1 比	79%	90%	82%	89%		92%	67%	
H30 年度実績	893件	686件	195件	94. 7%	_	1, 983件	374件	
対 H30 比	77%	90%	71%	85%		89%	71%	

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク関 就職支援業務報告(令和3年度)

1 所長による分析(業務運営の総括)

- (1) 特に重点的に取り組んだ事項
- ① 各指標に対する取組

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、求職者担当者制、提案求人ストック10、など能動的な取り組みを実施しました。 特に、提案求人ストック10では、求職者ニーズを分析した求人を常時手元に10件以上ストックし、相談時にプラス1求人として提案した結果、就職件数は、上期72件、下期47件と成果をあげています。

新型コロナウイルスのまん延が長期化し、求職者の活動意欲の低下、慎重な転職心理により紹介希望が減少する傾向がありましたが、利用者のニーズを的確に把握した紹介により、就職件数、充足件数は目標達成となりました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

日常業務を通した指導のほかに、職員の資質向上を目的とした研修を「30分で、研修シリーズ」として展開しました。相談技能向上のための事例検討研修、利用者へ適切な情報提供をするための関係機関(労働基準監督署、雇用環境均等室)業務研修、システム刷新、障害者雇用支援研修、職業情報支援のための「O-NET」研修など、いずれも「30分」で構成し、参加者や業務対応者に負担のない企画としています。講師には、複数の職員を起用し、研修計画を含めた職員の育成としても有用な機会となりました。

相談したくなるハローワークとして、利用者に寄り添う支援が常に出来る職員となるような取組を継続します。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、積極的な企業説明会を実施しました。

介護事業所「介護ディ」 各回2社、10回実施、43人参加、8人就職。

企業説明会 各回1社 12回実施、65人参加、5人就職。

また、当所独自の取組である「企業参観日」は、面接前に気軽に事業所見学ができることを宣言する企業を登録し、作業風景や従業員の声をまとめたリーフレットを利用者へ提供し、見学や面接を促すサービスです。3年度は取組内容を見直し、メリット感を明確にした登録勧奨を薦めた結果、17社の新規登録があり合計39社となりました。サービス強化のため、登録企業求人の情報誌作成と利用者への提供、企業

説明会への参加勧奨を行った結果、見学後の就職率が24%と高い値となりました。

- (3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について
- 一部製造業の業績回復により、求人が増加しています。在職中の有効求職者が増加傾向にあること、45歳以上の求職者が増加傾向にあることを踏まえた充足計画の支援が課題となります。

また、「ストック10」による求人提案は、紹介件数に対する就職率が48%と高いため、求職者担当者制と併せて目標数値管理をしながら取り組みを強化します。

(4) その他業務運営についての分析等

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を残しつつも製造業での求人が増加しました。一方で求職者が減少し、企業の人手不足感が高まりました。感染拡大防止に配慮し、企業説明会を積極的に実施し求人・求職サービスの充実を図ったことで充足につながりました。十分な人員と時間が確保できないなかでしたが、職員の工夫により、企業説明会の開催、求職者ニーズの高い求人開拓、雇用保険受給者に対する担当者制によるマッチング強化、継続的な職員資質向上研修などを実施することができています。

2 特記事項

就職支援の好事例:業務横断的な連携による困難事例への支援

早期再就職支援ナビゲーターが担当する求職者(就労経験なし、ひきこもり経験あり、早期就職希望、吃音、障害者手帳なし)への連携支援により、正社員就職が実現し現在も定着している。

- ・今までの困難経験、就職への希望等を丁寧に聴き取り、課題を整理。
- ・精神・発達障害者トータルサポーター、求人担当と情報共有し、求人開拓と応募求人選定。
- ・本人の同意を得て、応募先へ課題等の情報提供と面接への配慮説明。面接練習などにより本人の自信を回復。
- ・見学後、関係者で配属先や仕事への配慮を共有し、試用期間を経て正社員就職。
- ・就職後の定着支援。(事業所、本人双方へ)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	④ハローワークの 職業紹介により正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	⑧正社員求人数	⑨正社員就職件数	①生活保護受給者 等の就職率	
令和3年度実績	1, 885件	1, 859件	439件	84. 8%	128件	6, 140件	863件	69. 4%	
過去3年度平均	2, 170件	2, 060件	556件	100. 0%	139件	6, 006件	1, 031件	59. 0%	
R2年度実績	1, 816件	1, 724件	547件	91. 5%	139件	5, 033件	847件	61. 1%	
対 R2 比	103%	107%	80%	92%	92%	121%	101%	113%	
R1年度実績	2, 281件	2, 099件	530件	102. 5%	_	6, 190件	1, 080件	60. 0%	
対 R1 比	82%	88%	82%	82%	_	99%	79%	115%	
H30 年度実績	2, 413件	2, 357件	590件	105. 6%	_	6, 794件	1, 165件	55. 3%	
対 H30 比	78%	78%	74%	80%	_	90%	74%	125%	

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク美濃加茂 就職支援業務報告(令和3年度)

- 1 所長による分析(業務運営の総括)
 - (1) 特に重点的に取り組んだ事項
- ① 各指標に対する取組

当所では、就職件数の目標値(1,300件)、雇用保険受給者の早期就職件数に重点を置き、次のような取組を行いました。

- ・平成25年度から実施している取組「仕掛けるマッチング」を徹底し、就職の可能性が高まるように2回に1回は能動的な職業紹介を行なうよう補助的目標を掲げ、最終的には年間目標を超える就職件数1、362件につながりました。
- ・求職者担当者制による個別支援、給付制限期間中に来所勧奨文や求人情報の送付等の積極的なアプローチ、再就職手当シミュレーション シールの貼付による就職意欲の喚起を図って就職支援を行いました。

また、地方自治体との連携として次の取り組みを実施しました。

- ・白川町、白川町商工会との連携協定に基づく月1回の出張相談を、新型コロナウイルス感染防止のためオンライン職業相談として実施しました。
- ・美濃加茂市との連携協定に基づく、みのかも女性活躍センター「リオラ」において月1回の出張相談を実施しました。
- ・美濃加茂労務対策協議会との連携による「みのかもジョブフェア」を、新型コロナウイルス感染防止対策を行いつつ8月、11月、2月の 3回実施しました。
- ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組
 - ・中長期的な職員の育成を図る観点から、職業相談に必要な知識である労働基準法研修 (7月)、雇用環境均等関係研修 (9月)、需給調整 事業関係研修 (12月)、ゲートキーパー養成講座 (2月)、障害者関係業務研修 (3月)を開催し、職員・相談員のスキルアップを図りま した。

また、職員が受講しやすいように6コース、一コマ30分程度に設定し研修を行いました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ・事前に働く職場を見学したいという求職者の希望により、多治見所と合同職場見学会を実施しました。
- ・管内のユースエール認定企業を集めた交流会を開催し、若年者の人材確保を期待する意見があったため、ユースエール認定企業、くるみん認定企業、岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業を対象とした「リアル企業説明会」を開催しました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大が長引く中、白川町、白川町商工会との連携協定に基づく出張相談をリモートにて実施しました。
- ・新型コロナウイルス感染防止のため大規模な面接会を実施するのは困難な中、所内会議室において十分な感染対策を行ったうえ、ミニ 面接会を実施しました。(年間参加企業数合計90社)
- (3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について
 - ・ハローワークシステムの機能追加により、オンラインハローワーク紹介やオンライン自主応募が可能となった。マイページ登録した求 職者に対するマッチングや各種イベントの情報提供を行っていきます。

また、ハローワークの窓口に来所される利用者に対しては、より一層の個別支援が重要であると考えられる。求職者担当者制や「仕掛けるマッチング」による提案型のプラスワン紹介等を充実させます。

- ・新型コロナウイルス感染拡大により、事業所訪問が困難な状況が続いている。可能な限り事業所を訪問し、求人開拓や求人に関する情報 を共有しつつ、魅力ある求人票の作成のアドバイスを行うことで、求人者及び求職者サービスに繋げていく。
- (4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染拡大を見据え、オンライン職業紹介やオンライン職業相談等のサービス提供を積極的に取り入れて、業務運営を 行っていく。また、効果的な実施を行うため、各種システム研修を所内で実施します。

2 特記事項

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	紹介率	④ハローワークの 職業紹介により、 正社員に結びつい た就職氷河期世代 の不安定就労者・ 無業者の件数	⑧正社員求人数	⑨正社員就職件数		
令和3年度実績	1, 362件	1, 120件	441件	92. 0%	90件	5, 845件	632件		
過去3年度平均	1, 548件	1, 287件	504件	102. 0%	117件	4, 934件	750件	/	
R2年度実績	1, 310件	1, 038件	529件	87. 3%	117件	4, 711件	578件		
対 R2 比	103%	107%	83%	105%	76%	124%	109%		
R1年度実績	1, 605件	1, 355件	509件	102. 2%	_	5, 071件	786件		
対 R1 比	84%	82%	86%	90%		115%	80%		
H30 年度実績	1, 729件	1, 468件	474件	117. 0%	_	5, 021件	887件		
対 H30 比	78%	76%	93%	78%		116%	71%		

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク中津川 就職支援業務報告(令和3年度)

1 所長による分析(業務運営の総括)

- (1) 特に重点的に取り組んだ事項
- ① 各指標に対する取組

当所では、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、新規求人数が減少していく中、「求人の確保」に重点を置き、特に求職者の希望職種の多い製造及び事務の求人開拓を実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で求職期間が長期化する傾向があったため、求人票の提案を積極的に実施し就職件数の増加に努めました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成のため、職業紹介部門職員全員に対して、所内事例検討会及び所内研修を実施し、技能・知識の向上を目指しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナウイルス感染症の影響により、事業主や在職者、求職者からハローワークの扱う助成金等に限らず様々な支援に関する相談が寄せられたため、窓口職員全員に国、地方自治体等が実施している支援策を周知し、相談者の求める支援策の情報提供及び問い合わせ先の情報提供を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

今後は、オンラインサービスと対面型支援を組み合わせることにより、多様なニーズに合わせた支援を行っていきます。

求職者の利便性を向上し、ハローワークの支援により就職できるように「マイページの開設促進・オンライン職業相談・オンラインハローワーク紹介の積極的な利用促進を行っていきます。

	A. Limber			
(4) その他業務運営につ	いての分析等			
新型コロナウイルス感染	症の影響で、企業説明会等イベントの開作	催中止や来所を伴わない職業相	談の実施等が求められたことから	、訪問に
	その提供や窓口相談以外でのハローワーク		電品による企業情報の収集、郵便	や電前に
よる求人情報の提供など来	所を伴わないサービスの提供を行いました	. 		
2 特記事項				
2 付此事快				

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	④ハローワークの 職業紹介により、 正社員に結びつい た就職氷河期世代 の不安定就労者・ 無業者の件数	⑧正社員求人数	⑨正社員就職件数		
令和3年度実績	1, 033件	954件	235件	91. 1%	21件	3, 364件	475件		
過去3年度平均	1, 146件	1, 119件	248件	95. 0%	37件	3, 073件	478件	/	
R2年度実績	932件	932件	230件	84. 6%	37件	2, 685件	357件		
対 R2 比	110%	102%	102%	107%	56%	125%	133%		(1111111111111111111111111111111111111
R1年度実績	1, 227件	1, 138件	235件	100. 6%	_	3, 260件	538件		
対 R1 比	84%	83%	100%	90%		103%	88%		
H30 年度実績	1, 278件	1, 288件	280件	101. 1%	_	3, 274件	540件		
対 H30 比	80%	74%	83%	90%		102%	87%		

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。